

# コース概要

## 呼吸器外科専攻コース

### 【プログラムの目的と特色】

呼吸器外科専門医を取得するためには、外科専門医の取得が必須である。このため、消化器・一般外科研修を1年間行ったのち、2年間の呼吸器外科研修を行う。呼吸器外科疾患の病態に対し、適切な診断と治療を行うために、呼吸器外科医として必要な診断能力と臨床能力を習得する。



### 【研修内容と到達目標】

#### 後期1年次

外科専門医を取得するため、消化器・一般外科の研修を行う。

#### 後期2年次

1. 呼吸器外科疾患の診断ができ、適切な治療方針を決定できる。
2. 気胸および血気胸の診断と初期対応が適切にできる。
3. 気胸、膿胸、胸水貯留例に対し、適切な胸腔ドレナージができる。
4. 呼吸器外科医として、気管支鏡検査ができる。
5. 術者として、開胸、閉胸の実施ができる。
6. 術者として、開胸下および胸腔鏡下の気胸、肺部分切除の手術ができる。
7. 術者として、胸骨正中切開による縦隔腫瘍の手術ができる。

#### 後期3年次

1. 第1助手として、開胸下および胸腔鏡下の区域切除、肺葉切除、肺全摘術の手術ができる。可能であれば、術者として指導医のもとこれらの手術ができる。
2. 術前、術後管理ができる。特に、術後合併症に対し、早期診断と初期対応ができ、適切な治療方針を決定できる。
3. チーム医療の1員として積極的に参加し、初期研修医を指導できる。

### 【カンファレンス】

呼吸器外科カンファレンス(1回/週)

呼吸器合同カンファレンス(呼吸器内科、呼吸器外科、放射線科 1回/月)

### 【週間スケジュール】

	月	火	水	木	金
午前	初診外来 病棟処置	手術	病棟処置	初診外来 病棟処置	手術
午後	病棟処置	手術	気管支鏡	病棟処置 カンファレンス	手術

# コース概要

## 【平成22年手術実績】

術名・検査名	件数
全手術症例	167
肺癌	73
転移性肺腫瘍	8
その他	81

## 【指導医】

医師名	役職	医師資格 取得年	所属学会・資格等	専門領域
櫛部 圭司	部長	昭 61	日本外科学会専門医・指導医、日本呼吸器外科学会専門医・指導医、日本胸部外科学会指導医、日本気管支鏡学会、日本肺癌学会、日本呼吸器学会、呼吸器外科学会評議員	肺癌手術における術前後の呼吸機能評価
河合 紀和	医員	平 17	日本外科学会、日本呼吸器外科学会、日本胸部外科学会、日本気管支鏡学会、日本肺癌学会	呼吸器外科

## 【取得可能な認定医・専門医】

日本外科学会専門医

日本呼吸器外科学会専門医

## 【学会認定・施設】

日本外科学会専門医制度修練施設

日本胸部外科学会指定施設

日本呼吸器外科専門医制度基幹施設